

あたらしい絵本 No. 516 2025. 12. 2



『ありがとうのもり』 かねこ まき／作・絵

・巣から落ちた小鳥をおうちに戻してあげたこざる、木の実が取れなくて困っていたりすを助けてあげた小鳥、くまが穴に落としてしまった蜂の巣を取ってあげたりす…。助け合いながら生きる動物たちを描いた絵本。（幼0～5歳）



『100ぴきかぞくのいちにち』 古沢 たつお／さく

・100ぴきのねこのかぞくは、みんなであそんだり、おやつを作ったり、毎日楽しく暮らしています。さあ今日は、どんなふうにご過ごしているのでしょうか？ それぞれ違った個性をもつねこたちがかわいい、探し絵も楽しめる絵本。（幼0～5歳）



『せんめんじょできっちんで』 ザ・キャビンカンパニー／絵

・ぼくが歯をみがくと、「きみ」はせんめんじょからきっちんへ、そしてまちへと飛び出す。なにかがいるかもしれないし、いないかもしれない…。読むたびに日常風景が変わって見える、不穏で不思議な世界を描くオバケの詩の絵本。（幼0～5歳）



『うっかり書房』 そのだ えり／作

・本が大好きなワオキツネザルのワオくん。うっかりが重なって、本屋さんになることに。棚を作って、本を並べて。読んだり、読んでもらったり、自分の本を作ったり…。本のお楽しみがいっぱいな「うっかり書房」はこちらです！（幼0～5歳）



『つめのくに』 シゲリ カツヒコ／作・絵

・つめかみグセを止めようと、つめに顔の絵を描いたりコ。気配を感じ振り向くと、そこには親指に描いたおじさんの姿が！「つめのくに」に連れて行かれたりコは、いろいろな人のつめになってみることで、つめの大切さに気づき…。（幼0～5歳）



『ねりものハウス』 山崎 由貴／著

・ねりものたちがくらす「ねりものハウス」。かまぼこのかまちゃんとかまちゃん、まっしろなはんぺんさん、マッチョなだてまきさん…。いろいろなねりものたちがすんでいます。きょうは新しいなかまがやってくる日で…。（幼0～5歳）



『パンどろぼうとスイーツおうじ』 柴田 ケイコ／作

・スイーツおうこくのスイーツおうじは、スイーツばかり食べてほかのものを食べません。心配したおうひさまは、パンどろぼうに解決してほしいと、お城へまねきますが…。迷路、絵探しも掲載。「パンどろぼう」シリーズ第7弾。（幼0～5歳）

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『まよなかのおはなしかい』 チャールズ・サントソ／え

・男の子は、寝る前、ママにおっかないお話を読んでもらうのが好き。「おはけには、誰がお話を読んであげるの？」と考えたら、気になって眠れなくなった男の子は…。おやすみ前の、とっておきの物語。（幼0～5歳）



『あめふりサーカスざんざんざん』 井上 コトリ／作・絵

・まちにまった梅雨。“いけのマンション”に住む水のなかのいきものたちは今年もみんなそろっておでかけします。サーカスのテントに行ってみると、水によわい団員たちの代わりにサーカスに出ることになって…。（幼3～5歳）



『ぼくはかける』 イ ハジン／作

・つらく、長い道の先にあるゴール。一番を目指すライオンさんは、ある失敗をきっかけに、ライバルたちが「仲間」であったことに気づく。朝も夜もひたすらにかけ抜けていくその先で、ライオンさんと仲間たちを待っていたのは？（幼3～5歳）



『むしあつまれ!じゅえきくん』 じゅえき太郎／作・絵

・雑木林にいる樹液の「じゅえきくん」は、むしたちの大好物。すずめばち、おおむらさき、かぶとむし、くわがたむしが、じゅえきくんを訪ねてきて…。「じゅえき」が主人公の絵本。（幼3～5歳）



『まるがかけたら』 武田 美穂／作・絵

・まるがかけると、たのしい。目をつけて、口をつけて、手足をつけたら、「ぼうみtainaひと」になりました。単純な線をつかった絵が、だんだん楽しい世界に生まれ変わっていくようすを、ユーモラスに描く絵本。（幼0～5歳、小初）



『あめあめふれふれ』 酒井 以／絵

・あまやどりでいっしょになった、学年のちがう3人。2年生のみさと、1年生のユリちゃん、3年生のユウトくん。あめがやむ「おいのり」をやったけれど、ますますふってきて…。あめふりが楽しくなる、心あたたまる絵本。（幼3～5歳、小初）



『きのこってなんだろう?』 小林 路子／さく

・いつの間にか生えていて、いつの間にか無くなっている不思議な存在、きのこ。日本の菌類画の第一人者が、ベニテングタケを例にライフサイクルを描き、その正体に迫る。様々なところで育つ、色とりどりのきのこも紹介。（幼3～5歳、小初）



『お月さまいつもありがとう』 ジェシカ・ラナン／絵

・満月の夜、オサガメの赤ちゃんは海に向かい、サンゴは産卵する。新月の夜、ライオンは闇にまぎれて狩りをし…。月の満ち欠けが生きものの暮らしに与える影響を、最新の研究成果に基づいて描いた科学絵本。巻末に解説付き。（幼3～5歳、小初）